

(2) 具体的な取組の概要

【防災キャンプ実施概要】

①郡上地域プラットフォーム(郡上市)

【活動名】明宝サマーぼうさいキャンプ

【実施日】平成28年7月16日(土)～平成28年7月17日(日)

【実施場所】郡上市明宝コミュニティセンター

【参加範囲】郡上市立明宝小学校第4・5・6学年の児童及びその保護者と地域住民

【参加人数】69名(児童29名、運営スタッフ・講師13名、地域住民27名程度:随時参加)

【プログラム内容】

(1)準備委員会等

- ・第1回打ち合わせ:当日までの見通し確認、活動内容の検討
- ・第2回打ち合わせ:日程・活動内容の詳細、地域代表者会の組織について
- ・地域代表者会:代表者らによる趣旨・内容についての確認、地域住民への参加呼びかけについて検討
- ・第3回打ち合わせ:準備状況確認
- ・当日運営スタッフ打ち合わせ:児童の体調管理、安全面の配慮、緊急時の連携系統確認

(2)防災キャンプ

～1日目～

●【活動1】防災プログラム 講義・演習

災害時の命の守り方について体験的に学習
家庭内DIG及び地域の災害危険性について
映像資料で学習後、地域安全マップによるDIG

●寝床の設営体験

段ボールで間仕切りをし、寝床を作る

●【活動2】フィールドワーク防災探検 川

地域の防災備蓄倉庫の見学及び川の危険性

●【活動3】夕食づくり

コミュニティセンター節に活用した調理

●【活動4】竹で食器づくり

避難時に役立つ刃物の扱い方を学ぶ

●【活動5】防災プログラム 講話

阪神淡路大震災経験者による被災時体験談

●【活動6】ナイトハイク

夜の避難を想定した災害伝言板確認

●【活動7】非常食体験

市で備蓄している非常食の確認及び調理

●【活動8】火おこし体験

火のおこし方について学び、自分で火をおこす体験

●【活動9】消火訓練体験・消防団員の講話

放水体験及び初期消火体験

地元の消防団による講話



【活動1】防災プログラム



【活動8】火おこし体

②土岐地域プラットフォーム(土岐市)

【活動名】土岐津町防災を学ぼう会(小・中学生防災キャンプ)

【実施日】平成28年8月27日(土)～平成28年8月28日(日)

【実施場所】土岐市立土岐津公民会

【参加範囲】土岐津小学校児童・土岐津中学校生徒で参加を希望する者及び地域住民

【参加人数】1日目 79名(児童11名、生徒24名、スタッフ・地域住民44名)

2日目 360名(児童5名、自治会124名、公民館利用者66名、関係者165名)

【プログラム内容】

(1)準備委員会等

- ・第1回実行委員会:地域プラットフォーム形成と事業の方向性の確認
- ・準備会①:事業内容の検討等
- ・準備会②:事業の役割分担等
- ・第2回実行委員会:事業実施に係る最終確認等
- ・第3回実行委員会:反省会

(2) 防災キャンプ

～1日目～

● 震災の語り部から学ぼう
日本大学3年生女性語り部による講演
「東日本大震災から学ぶ」

● 防災・減災ってな～に？①

- ①「作る」腰掛防災トイレ
- ②「知る」町の災害の歴史
- ③「考える」防災クロスロード
- ④「逃げる」シェークアウト訓練

● 宿泊準備

ダンボールで宿泊環境を整える。

● 防災・減災ってな～に？②

- ①「見る」防災クイズ
- ②「備える」地震で家具が凶器に！？

● 体験(防災を学ぼう会)

- ① 講演会
館内放送にてシェークアウト訓練後、
岐阜大学防災・減災センターコーディネーター
による講演
- ② 炊き出し
- ③ 煙体験・地震体験車
- ④ 防災用品展示
- ⑤ 非常食試食
- ⑥ 応急手当



震災の語り部から学ぼう



防災・減災ってな～に①

(3) 実績スケジュール

月 日	内 容
4月22日(金)	第1回打ち合わせ【郡上市】
5月25日(水)	第2回打ち合わせ【郡上市】
6月7日(火)	キャンプスタッフ打ち合わせ【郡上市】
6月20日(月)	地域代表者会【郡上市】
6月30日(木)	第3回打ち合わせ【郡上市】
7月11日(月)	当日の運営スタッフとの打ち合わせ【郡上市】
7月12日(火)	第1回実行委員会【土岐市】
7月16日(土)、17日(日)	明宝サマーぼうさいキャンプ【郡上市】
7月27日(水)	準備会①【土岐市】
8月9日(火)	準備会②【土岐市】
8月24日(水)	第2回実行委員会【土岐市】
8月27日(土)、28日(日)	土岐津町防災を学ぼう会(小・中学生防災キャンプ)【土岐市】
9月8日(木)	第3回実行委員会(反省会)【土岐市】
10月21日(金)	全国公民館研究集会岐阜県大会分科会にて事業報告【土岐市】
11月15日(火)	美濃地区社会教育推進大会にて事業報告【郡上市】
11月17日(木)	岐阜県社会教育主事等研修会にて事業報告【県】

3. 成果と課題

(1) 成果

① 防災・減災の専門的知識の習得

・防災専門の講師の方や震災経験者の方から話を聞いたり、減災について学んだり、町の災害の歴史を知ることによって防災に関する知識や心構えを身につけることができた。

② 小・中学生や地域住民との交流

・児童生徒や地域住民が防災について共に考え理解を深めることができ、自分たちが暮らす地域の「防災」について関心が深まる機会となった。

・子どもたちがものづくりや避難所設営を行ったことで、達成感や「いざというときに自分にもできることがある」という自信を持つことができた。

③既存事業内容の深まり

- ・地元の自然体験学習のプロが、防災教育のプロと出会うことで、「アウトドアの知識が防災の知恵につながる」と知り、来年度以降も防災の要素を組み込んだキャンプを実施できることが期待でき、子どもたちに防災の知恵を継続して伝えることができる。
- ・子どもたちの体験活動としての視点を組み込み、従来から行っている防災プログラムが多様になり、より多くの体験と知識が地域住民に身についた。

(2) 課題

○未実施地域における普及

- ・岐阜圏域6地区のうち、これまでに4地区の市町村において防災キャンプを実施しているが、県内の地域プラットフォーム形成及び防災教育の観点から、未実施である2地区に対しても平成26年度以降取り組んできたプログラムから成果やノウハウをまとめ取り組んでいくことができるように普及していくことが不可欠である。

4. 地域プラットフォームの展望(今後の方向性・取組等)

①事業成果の周知

防災キャンプを通じたプラットフォーム形成に関する事業成果をより多くの県民に周知するため、発表の機会の効果的な場所を検討し、未実施地域での実施や各地域の自主的な活動を促進する。

②地域住民参加型事業の検討

より一層多くの地域住民の参加を促し、子どもも大人も共に地域ぐるみで防災キャンプに参加できるようなプログラムや実施場所の検討していく。

③実施主体の連携

県知事部局と教育委員会間でも連携を図り、人的支援やプログラム考案の際に情報共有を図るなどして、より広がりをもったプラットフォーム形成ができるように取り組んでいく。

5. 団体プロフィール

岐阜県

〒500-8570 岐阜県岐阜市藪田南2-1-1
担当課:岐阜県教育委員会社会教育文化課
TEL:058-272-11111(内3575)
FAX:058-278-2824

